



HANDABILE Chimuka-san

WISE2期生、
大学院国際感染症学院 生物製剤研究開発室出身

大学院で学んだワンヘルスについて、
あなたが重要だと考えることは何ですか？



最初は、ワンヘルスの概念について基本的な理論的理解しかありませんでしたが、大学院での学習を終えた後では状況が変わりました。学習中に提供された機会、さまざまな研究者からの講義、学生グループでの議論、および研究室の外での活動などからワンヘルスアプローチを包括的に理解でき、実際に活用することを可能にしました。

学んだ中で私にとって非常に重要なことは、人間と動物の健康を維持し、生態系の生物多様性を維持しながら、多学際的なアプローチが必要であるということです。私のワンヘルスのアイデアは当初、動物と人間の健康に偏っていましたが、博士課程を通じて、ワンヘルスの範囲が広範であり、抗生物質耐性、食品の安全と安全保障、環境の健康などを包括しており、これらすべては科学の領域外の関係者を含むすべての関連するステークホルダーが関与しなければ実現できないことを学びました。



Internship at Shiga University of Medical Sciences

WISEプログラムの活動で一番忘れられないもの、またAlly courseで一番面白かった活動は何ですか？



WISEプログラムで最も印象的だったのは、インターンシップとSFDA4で出張し活動したことでした。これらの活動は、私の専門分野の知識とスキルをとても向上させました。また、Allyコースはすべてのモジュールを楽しみましたが、私が参加した中で最も興味深いコースは、やはりモジュール4のSFDA4で、そこで獲得した実用的なスキルは非常に貴重でした。



A visit at Kinkakuji temple during my internship at Shiga



Student Free Design Activity (SFDA) at Center for Infectious Disease Research in Zambia (CIDRZ)



Module 3 at Rakuno Gakuen University

先輩へのアドバイスをお願いします。

自分の研究室の外で学ぶことは、素晴らしい機会です。是非、WISEプログラムに積極的に参加することをお勧めします。その経験は、世界のどこでも競争できるより情報量豊かな研究者となることに役立つでしょう。

Chimukaさん、メッセージありがとうございました！
これからの益々のご活躍をお祈りしています！！